花川病院　回復期リハビリテーション病棟に関する実績指数等の公開

更新月：2026年7月

■全病棟		
前月までの3か月間の退棟数	回復期リハビリテーションを要する状態の区分	退棟数
	一．脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	74
	二．大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	92
	三．外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	24
	四．大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態	0
	五．股関節又は膝関節の置換術後の状態	28
	六．急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0
	合計	218
退棟した患者の直近6ヶ月間の実績指数		59.9